

①
目
的

新日本薬業グループは、社員を重要な財産と捉え、社員が心身ともに健康で安心して働ける環境づくりに取り組んでいます。

当社の掲げる「健康経営宣言」に基づき、社員の自己実現を果たせるよう支援しており、活力ある職場を通じて、「国民の健康増進」に貢献する使命を果たせるよう健康経営を推進しています。

②
課
題
・
目
標

健康経営で解決したい経営上の課題と効果

◆健康経営で解決したい経営上の課題

○社員および家族の健康を保持・増進するとともに、働きがいの向上を通じて、社員の「Well-being」を実現することにより、企業価値を高めていくことを重要な課題としています。

◆健康経営の実施により期待する効果

【社員一人ひとりの心身の健康の実現と働きがいの向上】

○当社は厚生労働省の「がん対策推進企業アクション」推進パートナーとして、同機関が掲げる3つの方針を基盤に、取組を進めています。年代別のがん罹患率を見ると、男性はほとんどのがんが50代以降に増加しはじめるのに対し、女性は、乳がん・子宮頸がん等「女性特有のがん」が30代、40代から増え始めます。こうした特徴を踏まえて、特に女性に対しては、早い時期から早期発見に努めるため、女性特有の健康課題に注目し、その支援策に取り組み、すべての社員が健康に活躍できる職場を目指しております。

がんなど病気に対する早期発見・予防につながる取組が、活力ある職場環境の実現や働きがいの向上、さらには社員のパフォーマンスの向上につながることを期待します。

自社従業員（組織）の課題と目標

◆重点課題 女性特有の健康関連課題への対応、女性の健康保持・増進

当社では女性社員比率がゆるやかに増加傾向にあり、すべての社員が安心して働ける状態を確保するために、女性特有の健康課題に対するリテラシーや、早期発見・治療へ促す施策の重要性が高まっております。

またがん対策推進企業アクション推進パートナー企業として、企業の女性のがん対策を牽引するプロジェクト「WorkingRIBBON」に参画しており「女性のがん検診受診率80%」の達成と維持を目標としております。

④
健
康
経
営
の
成
果

経営上の課題に対する健康経営の成果

社員が心身ともに健康で安心して働ける環境づくりの一環として、当社では「がん対策」に積極的に取り組んでいます。当社におけるがん検診の受診率は、全国のがん対策推進パートナー企業のアンケート結果と比較しても、各項目において高水準を示しています。企業としてがん検診を推奨することは、社員の病気の早期発見・早期治療・予防に繋がり、健康の保持・増進を支援する重要な取り組みと考えます。

（参考）がん対策推進パートナー企業対象アンケート結果

【国が勧める5つのがん検診受診率】

胃がん：56.9%（77.8%） 肺がん：85.9%（98.7%） 大腸がん：74.4%（96.8%） 乳がん：53.2%（92.6%）
子宮頸がん：40.6%（77.4%） ※（ ）内は当社2025年受診率実績

③
施
策
・
実
績

健康経営の取り組み

◆施策内容

該当する年齢により全社員を対象としたがん検診等のオプション検査の会社費用補助をはじめ、早期発見・早期治療、予防につなげる取組を中心に実施しています。特に女性の健康課題に注力しており、女性のがん検診の受診率80%維持向上に向けた施策を継続実施しております。

女性のがん検診（乳がん+子宮頸がん）受診率

	数値（%）			年度
	乳がん	子宮頸がん	乳がん+子宮頸がん	
取組前実績値	79.0	73.7	76.4	2021
現在の実績値	92.6	77.4	85.0	2025

KGI	数値%	年度
	乳がん+子宮頸がん	
	受診率80%維持向上	2030までに

◆具体的な施策

①がん検診等オプション検査の会社費用補助（導入：2021年度～）

評価：定期健康診断時にごがん検診をはじめとするオプション検査が会社費用補助で受診できる制度が定着しております。

国が勧める5つのがん検診においてはどの項目においても全国平均を上回る受診率となりました。

②セミナーの実施等リテラシーの向上（導入：2021年度～）

評価：がん対策推進企業アクションのがんのリテラシーを高める動画視聴の案内やリーフレットを定期配信しております。

中でも、がんに関するe-ラーニングは入社時に必ず受講することで社員の受講率は100%を維持しております。

③女性がん検診受診勧奨（導入時期：2022年度～）

評価：定期健康診断受診票配布書類一式の中に、女性のがん検診受診の重要性に係るリーフレットを同封しております。

定期健康診断予約時に同時に予約を行っていただくことで受診率を上げていく仕組みとなっており引き続き継続します。

④女性の健康・育児に関するオンライン相談窓口（導入時期：2024年度～）

評価：東薬健保の外部オンライン相談窓口を推奨しています。病院へ行くほどでもない悩みでも医師や保健師に相談でき、必要に応じて医療機関への受診へとつながることができます。

⑤ピンクリボン活動（導入：2025年度～）

評価：10月のピンクリボン月間に合わせ、乳がん検診の受診勧奨を社内にて実施しました。社員およびその家族にも関心を持っていただけるよう、ブレストケアに関する案内を同封したポケットティッシュを情宣のために全社員に配布、さらに、受診勧奨ポスターの掲示や、来客用コップをピンクリボン仕様に変更するなど、全社的な取り組みを通じて、女性がん検診への意識向上を図りました。

⑥家族の配偶者へのアプローチ（導入：2026年度～）

評価：2026年度より社員の家族へ向けたお手紙を配布。家族の配偶者に対しても定期健康診断受診勧奨とともにがん検診の重要性を伝えます。

取組においての課題

◆実施している施策の課題

女性特有の健康課題に関する教育は、女性のみを対象とした内容では関心が広がりにくい側面があります。更年期における性差なども取り上げ、性別を問わず自分事として捉えられる内容とする工夫が必要であり、一定数存在するがん検診未受診者へのアプローチ強化も課題としています。

◆今後取り組みたい施策の課題

女性のがん検診受診率（乳がん・子宮頸がん）は目標である80%を超える水準で推移している一方、子宮頸がん検診単独の受診率は依然として80%に達しておらず、一定数の未受診者も存在しています。今後は未受診者への受診勧奨を強化するとともに、がん検診受診を継続的な健康行動として定着させるために引き続き定期的な情報提供を行って参ります。